

令和元年度に発生した豪雨災害等における課題について（報告）

＜概要＞

令和2年5月29日
災害対策委員長

令和元年11月18日開催の第48回指定都市市長会議において、各災害時における被災市並びに応援市の被害状況把握及び復旧の取組等に係る課題並びに対応案に関する取りまとめを行うこととなり、今般、その結果を取りまとめたので報告を行うもの。

1 各市課題等の提出件数

項目名	回答(市)	件数(件)
1 災害マネジメントについての課題	17	89
2 被災者支援についての課題	16	128
3 環境・衛生等についての課題	15	62
4 ライフライン断絶等についての課題	6	21
5 施設被害についての課題	9	45
6 その他	9	37
合計	—	382

2 各テーマの主な課題と対応（詳細は全体版参照）

1 災害マネジメントについての課題（17市：89件）

○警戒レベルの基準の明確化

警戒レベルを発動する場合に、どのような事象で発令すべきかなど基準が明確でないため、全国統一された国の基準の整備など明確な明確と運用を定めることが望ましい。

○対口支援等の応援スキームの一本化

対口支援等の支援のあり方について、被災市区町村応援職員確保システムがある中、複数スキームの対応で調整業務が重複するなど効率的・効果的に活用されていないことから、応援スキームを一本化することが望ましい。

2 被災者支援についての課題（16市：128件）

○り災等証明システムの統一化

り災証明の交付については、支援側と受援側の自治体で異なるシステムを導入している場合、操作等の習熟に時間を要することで迅速な支援の妨げとなることから、国において統一システムを開発するなど全国統一的な環境を整えるべき。

○公費解体に係る実施体制の整備等

被災自治体が公費解体等に係る職員の配置を行い、他都市からの応援職員を確保するなど早期に実施体制（受援体制）を整える必要があり、応援側の技術職職員等をリスト化し、発災時には優先的に派遣できるような準備が必要。

3 環境・衛生等についての課題（15市：62件）

○各省庁支援スキーム間の調整

災害廃棄物関係の応援派遣に係る各省庁スキームの対口支援等が五月雨的に要請された場合、応援側の自治体が混乱する恐れがあるので、派遣先・支援内容・期間など省庁間で調整のうえ支援要請するなどを検討されたい。

○災害救助法による救助内容の弾力化

住宅の浸水被害が多数発生した場合でも室内清掃や床下消毒等については支援制度がなく、速やかな復旧・生活再建に支障をきたすため、同法の応急修理等の救助内容として室内清掃等も実施可能とするなど、国において統一的な支援制度を創設されたい。

4 ライフライン断絶等についての課題（6市：21件）

○水道事業における協会内及び被災市間の統一的ルールの構築等

水道事業の応援要請は、日本水道協会ルールで行われるが、協会各支部と被災市等の情報伝達が効率的に行えない状況もあったため、協会内の相互応援要綱の見直しや統一的ルールの構築について議論・理解を深めるとともに日頃からの情報伝達訓練などが重要。

5 施設被害についての課題（9市：45件）

○経験自治体が少ない復旧事業等の応援要請のルールづくり等

堆積土砂排除事業等については、経験した自治体・職員が極端に少なく、支援自治体を決定するまでに時間を要することで陣俗な災害復旧の妨げとなるため、応援要請のルールづくりや国が中心となった経験自治体のバンク的な情報集約を図るべき。

6 その他（9市：37件）

○ボランティアセンターの円滑な体制構築等

ボランティアセンターの受入れや被災者ニーズのマッチングをより円滑に行える体制を構築する必要があるため、運用の主体となる社会福祉協議会と体制について協議し、開設・運営について整理しておくべき。

3 最後に ～災害対策委員長都市からの提案～

○災害時におけるボランティア受付アプリの活用促進

今回の各市提案の中でも、被災地におけるボランティア受入と被災者ニーズのマッチングを円滑に行える体制の構築は重要とのご意見もありましたが、本市では、今年2月に地元大学生らが災害ボランティアの受付に要する時間を大幅に短縮できる無料アプリ「災ボラ QR」を開発した。QRコードの読込により受付が10秒ほどで完了する仕組みなので是非他都市でも活用していただきたい。

○国への要望や共通マニュアル等の整備

今回の報告内容について、指定都市各市と情報共有を図るとともに、今後、指定都市市長会としての国への要望や共通マニュアルの整備等を進めていくのでご協力をお願いしたい。

災害ボラ QR ～災害ボランティア受付アプリ～

◆熊本の地元大学（熊本県立大学）が2016年の熊本地震の教訓を踏まえて考案・開発した災害ボランティア受付用の無料アプリ

・ 昨年の台風19号時の被災市では受付に1時間以上要したケースも・・・

⇒ 災害ボランティアの受付に要する時間を大幅に短縮！



災ボラQR ← で検索
1.0.7 for Android
★★★★★ | 0 Reviews | 0 Posts
熊本県立大学 総合管理学部 飯村研究室
ダウンロード APK (26.3 MB) バージョン

APKPure アプリを通じて災ボラQRをアップデートする。速く、無料、データ通信料を節約。

使用手順 アプリを利用する前にボランティア保険に加入してください

STEP1 ユーザー情報の登録

STEP2 QRコード完成

STEP3 QRコードをタッチします

STEP4 受付完了です！！

今すぐダウンロード



App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

● 全国の自治体でも是非ご活用ください！